

地域提案型

平成21年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	地域に根ざした院内感染対策活動推進プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	平成14年末のSARSの発生以降、中国では全国的に院内感染対策が強化されており、広州医学院第一附属医院が広州市における院内感染対策のモデル基地として確立するに至っている。しかしながら、中国の臨床現場では一般的に院内感染対策に対する意識は低く、広東省では今なお院内感染事例の報告体制すら整っておらず、適切な対策措置が完備されているとはいえない状況である。広東省における地域住民の健康向上に向けて、広東省内の主要医療機関における院内感染対策を推進し、公衆衛生管理体制の基盤を強化することが喫緊の課題となっている。
4. 事業の目的	普及先病院における院内感染対策システムの構築支援を通して、下級医療機関に対する広州医院の院内感染対策に関する指導推進能力の向上を目指す。
5. 対象地域	広東省において下級医療機関に対する指導的役割を持つ広州医院をリソースとして、周辺地域の主要医療機関（増城市婦幼保健院、雲浮市人民病院、佛山市順徳区桂州医院）を対象とする。
6. 受益者層	広州医院、増城市婦幼保健院、雲浮市人民病院、佛山市順徳区桂州医院の医師等の医療スタッフ並びに地域住民
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広州医院および普及先病院との協働により、院内感染対策システムの構築支援に必要な実施体制・基盤を整備 2. 普及先病院における院内感染対策活動の実施・促進 3. 普及先病院における院内感染対策システムの機能化に向けて、広州医院による効果的な監督・指導 <p>3. の監督・指導の結果は、1. 及び2. にフィードバックすることで、一連のサイクルとして指導推進能力を向上させていく。</p>
8. 実施期間	平成22年7月～平成25年3月
9. 事業の実施体制	広州医院および普及先病院の実務者から成るタスクフォースを編成し、事業の進捗に合わせた研修員の受け入れを行う。日本からは短期専門家派遣（指導科目：感染症学、看護学、微生物学、薬学）を行う。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院（地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院）
2. 対象国との関係、協力実績	中央市民病院はJICA技術協力プロジェクト「広州市院内感染対策プロジェクト」（平成17～20年）の国内協力機関として、短期専門家派遣、および研修員受け入れにおいて広州医院への支援を行った。プロジェクト終了後はプロジェクトを経て構築されたヒューマンネットワークをベースとして、情報・意見交換を継続している。なお、広州医院および3つの普及先病院は広東省にあり、兵庫県と広東省は姉妹・提携している。